

P5、6に掲載しているグラフについて

【先進国債券の要因別累積リターン】

・Bloombergのデータをもとに当社作成。総合収益：FTSE世界国債(除く日本、円ベース)／インカム収益：FTSE世界国債(除く日本)利回り／キャピタル収益：上記のインカム収益とFTSE世界国債(除く日本、ドルベース)／為替収益：米ドル/円

【局面別の高格付債券・低格付債券のリターン(年率)比較】

・Bloombergのデータをもとに当社作成。低格付債券：米国ハイイールド社債 円ベースを円/米ドル(ロンドン16時)により米ドルベースに換算／高格付債券：米国投資適格社債 円ベースを円/米ドル(ロンドン16時)により米ドルベースに換算

【局面別の長期債・短期債のリターン(年率)比較】

・Bloombergのデータをもとに当社作成。短期債：NOMURA-BPI/Extended 総合 短期(1-3年)／長期債：NOMURA-BPI 国債 超長期(11-年)／長期金利：ジェネリック日本国債残存10年金利

【為替ヘッジコストの推計値(3カ月金利の差(年率))】

・Bloombergのデータをもとに当社作成。米国：ジェネリック米国債利回り3カ月／欧州(独)：ドイツ短期国債／豪州：オーストラリア短期国債／日本：日本ジェネリック指標国債3カ月単利

投資信託についてのご注意事項

■投資信託におけるリスクについて

○投資信託は、直接もしくは投資対象投資信託証券を通じて、主に国内外の株式や債券、不動産投資信託証券等に投資します。投資信託の基準価額は、組み入れた株式や債券、不動産投資信託証券等の値動き、為替相場の変動等の影響により上下します。これによりお受取金額が投資元本を割り込むおそれがあります。投資信託の運用により信託財産に生じた損益は、全て投資信託をご購入いただいたお客さまに帰属します。

■投資信託にかかる費用について

○投資信託のご購入からご解約・償還までにお客さまにご負担いただく費用には以下のものがあります。費用等の合計は以下を足し合わせた金額となります。

(1)ご購入時・ご解約時に直接ご負担いただく費用○申込手数料：申込金額に応じ、ご購入時の基準価額に対して最大3.30%(税込)の率を乗じて得た額○信託財産留保額：ご購入時の基準価額に対して最大0.1%の率を乗じて得た額、ご解約時の基準価額に対して最大0.5%の率を乗じて得た額○解約手数料：かかりません

(2)保有期間中に信託財産から間接的にご負担いただく費用○信託報酬：純資産総額に対して最大年2.20%(税込)の率を乗じて得た額。なお、商品により別途運用実績に基づき計算される成功報酬額がかかる場合があります。○その他の費用：証券取引に伴う売買委託手数料等の手数料または税金、先物・オプション取引に要する費用、組入資産の保管に要する費用、投資信託財産に係る会計監査費用、実質的に投資対象とする資産の価格に反映される費用(各々必要場合は消費税等を含みます)など※運用状況等によって変動するため、料率、上限額を示すことができません。※投資対象とするファンドにおいて負担する場合を含みます。

○これらの費用の合計額、計算方法等については、お客さまご購入されるファンドやご購入金額等によって異なりますので、表示することができません。○各ファンドにかかる費用の詳細は最新の契約締結前交付書面(目論見書・目論見書補完書面)等でご確認ください。

■その他重要なお知らせ

○投資信託は預金とは異なり元本および利回りの保証はありません。また、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。○ファンドにより、信託期間中に解約のお申し込みができない場合があります。○取得のお申し込みの際は、最新の契約締結前交付書面(目論見書・目論見書補完書面)を事前にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。○当社は投資信託の販売会社であり、ご購入・ご解約のお申し込みについて取り扱いを行います。投資信託の設定・運用は運用会社が行います。○投資信託にはクーリング・オフ制度は適用されません。

NISA制度(少額投資非課税制度)およびNISA口座のご注意事項

ONISA口座は、全ての金融機関を通じて一人一口座しか開設できません。(1年単位で金融機関変更可能)

○非課税口座開設届出書により開設したNISA口座について、二重開設が判明した場合は買付した投資信託は当初から課税口座で買付けたものとして取り扱われ、当該投資信託から生じる配当所得や譲渡所得等は遡及して課税されます。

ONISA口座には、特定累積投資勘定(以下つみたて投資枠)と特定非課税管理勘定(以下成長投資枠)の2つの勘定が同時に設定されます。年間投資枠はつみたて投資枠は120万円、成長投資枠は240万円までです。

○生涯に利用できる非課税保有限度額はつみたて投資枠・成長投資枠合わせて1,800万円(うち成長投資枠は1,200万円)までです。また、非課税保有限度額は購入金額(簿価金額)で管理されます。

○当社におけるつみたて投資枠の対象商品は、一定の条件を満たした長期の積立・分散投資に適した公募株式投資信託のうち当社がつみたて投資枠で投資可として選定したものに限りま。また、投資方法は積立投資に限られます。

○当社における成長投資枠の対象商品は、一定の条件を満たした安定的な資産形成に適した公募株式投資信託のうち、当社が成長投資枠で投資可として選定したものに限りま。上場株式や上場投資信託(REIT・ETF)等は取り扱っていません。

○非課税枠で購入した投資信託を売却した後、売却した投資信託が利用していた非課税保有限度額分については翌年以降に再利用することが可能です。ただし、1年間で利用できる投資枠の上限は決まっているため、年間投資枠の上限を超える非課税枠の利用はできません。また、年間投資枠の残枠を翌年に繰り越すことはできません。

ONISA口座の損失は税法上ないものとされ、損益通算・繰越控除はできません。また、分配金のうち非課税となるのは普通分配金に限られます。

○つみたて投資枠で保有する公募株式投資信託について、当社から信託報酬等の概算値を年1回通知します。また、つみたて投資枠を設けた日から10年後、および以後5年ごとに、当社から、氏名・住所の確認を行います。氏名・住所の確認ができない場合、NISA口座での新たな投資はできません。

○本資料に掲載しているファンドは、当社でお取り扱いしているファンドの一部です。詳細については営業員にお尋ねください。

○このご案内は、作成時点における法令その他情報に基づき作成しており、今後の改定等により、取り扱いが変更となる可能性があります。

○本資料は三井住友信託銀行が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

○本資料は三井住友信託銀行が信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料の記載内容、データ、図表等は、作成時のものであり、今後予告なしに変更される場合があります。また、本資料に掲載されている実績値、シミュレーション、予測、見通し、見解等のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

○最新のデータについては営業員にお尋ねください。

■販売会社に関する情報

○商号等：三井住友信託銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号

○加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会

三井住友信託の 債券ファンドガイド



債券スタイルマップ

債券ラインアップ

三井住友信託の債券スタイルマップ

長期的な投資を行うことで金利収入の積み上げ効果が期待できる債券運用の商品選びは、「利回り」、「格付け(信用)」、「デュレーション」の3つの指標がポイントです
三井住友信託では、商品ごとの特性を踏まえて選択・組み合わせをすることが、債券相場の変動による投資の不確実性への対応として有用と考えています

債券ファンドの種類とラベルについて

1. 商品特性を示すラベル(図中)のみかた

| | |
|---------|--|
| 利回り | 時価変動と無関係に、定期的に得られる金利収入です(償還差損益を含みます)。 |
| 格付け | 利払いや元本償還の信用度を示し、AAA、AA、...Dとなります。BBBまでを「投資適格債券」といい、低格付債券ほど値動きは株式的です。 |
| デュレーション | 市場金利が1%変化したときの、債券価格の変化を示す感応度(理論値)で、投資する債券の期間に応じて決まります。 |

2. 債券スタイルマップのみかた

| | | |
|-----|--|-----------------------|
| (低) | ハイイールド債や新興国債等の低格付債券 | (高) |
| 格付け | (値動きの特徴) ● 市場金利の影響: 小 ● 株式市場の影響: 大 | 長期国債や優良企業の長期社債等の高格付債券 |
| (短) | デュレーション | (長) |
| | (値動きの特徴) ● 市場金利の影響: 大 ● 株式市場の影響: 小 | |

利回り・平均格付・デュレーションは、いずれも2024年9月末基準。ただし、「フィデリティ・USハイイールド・ファンド」のみ2024年8月末基準。平均格付については、投資対象銘柄の平均格付を記載。

このマークがあるファンドは、円ヘッジコースの取り扱いもごさいます。



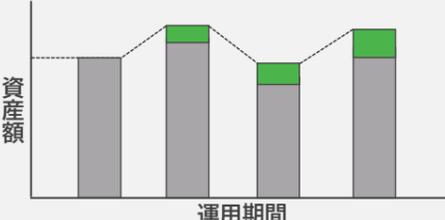
アイコンガイド

- NISA** NISA成長投資枠の対象ファンド
- 資産成長型** 分配を抑制し、再投資する方針のファンド
- 安定分配型** 定期的かつ安定的な収益分配を目指すファンド

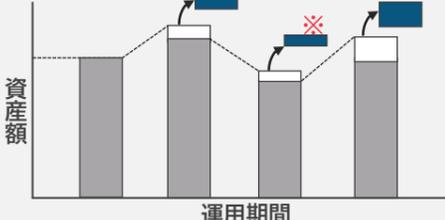
【ポイント】

- ✓ 「**資産成長型**」のファンドは、分配金を出さず運用資産に再投資することで、複利効果が期待できます。このため、資産を効率的に成長させたいお客さまに適しています。
- ✓ 「**安定分配型**」のファンドは、運用によって資産寿命を延ばしつつ、資金を受け取ることが期待できます。収益を都度お受け取りになりたいお客さまに適していますが、複利効果が得られない分、資産の成長性は低くなります。
- ✓ 各種アイコンを参考に、目的やご意向にあったファンドをご選択ください。

【資産成長型 イメージ】



【安定分配型 イメージ】



※ご購入のタイミングによっては、個別元本から分配金をお出しするケースもあります。

三井住友信託の債券ラインアップ

三井住友信託では、お客さまの投資ニーズやご興味にお応えしながら、債券ファンドの特性をとらえた分散投資をご提案いたします

相対的に金利上昇に強い

相対的に金利低下に強い

フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド
 (毎月決算型)B(為替ヘッジなし) **安定分配型**
 (隔月決算型)(為替ヘッジなし) **安定分配型** **NISA**

| | |
|---------|-----------|
| 利回り | 高 (6.70%) |
| 平均格付 | BB |
| デュレーション | 中 (3.20) |
| 為替ヘッジ | 無 |

委託会社 : フィデリティ投信
 純資産総額 : 6,848億円

相対的に高利回りの米国ハイイールド債券に投資します。安定・高水準の金利収入の積み上がりが期待できます。

ウェリントン・トータル・リターン債券ファンド
 (年1回決算型)(為替ヘッジなし) **資産成長型** **NISA**
 (年4回決算型)(為替ヘッジなし) **安定分配型** **NISA**

| | |
|---------|-----------|
| 利回り | 高 (5.17%) |
| 平均格付 | A |
| デュレーション | 中 (3.80) |
| 為替ヘッジ | 無 |

委託会社 : アセットマネジメントOne
 純資産総額 : — (2024年11月15日設定)

米国国債、投資適格社債、ハイイールド社債、ドル建て新興国社債・ソブリン債等に投資します。市場環境に応じた機動的な資産配分により、キャピタル収益を含めたトータルリターンの最大化を目指します。

米国地方債ファンド
 為替ヘッジあり/なし(毎月決算型) **安定分配型**
 為替ヘッジあり/なし(奇数月決算型) **安定分配型** **NISA**

| | |
|---------|------------|
| 利回り | 中 (4.85%)★ |
| 平均格付 | AA- |
| デュレーション | 中 (6.87) |
| 為替ヘッジ | 有・無 |

委託会社 : 三井住友トラスト・アセットマネジメント
 純資産総額 : 209億円

米国の投資適格地方債に投資します。米国国債よりも高い利回り水準でありながら、一般的な投資適格社債と比べて信用力が高く、デフォルト率も低水準です。

米国国債ファンド
 為替ヘッジなし(毎月決算型) **安定分配型**
 為替ヘッジなし(奇数月決算型) **安定分配型** **NISA**

| | |
|---------|-----------|
| 利回り | 中 (3.70%) |
| 平均格付 | AAA |
| デュレーション | 中 (6.40) |
| 為替ヘッジ | 無 |

委託会社 : 大和アセットマネジメント
 純資産総額 : 94億円

米国国債に投資します。短期債から残存期間が最長15年程度までの長期債までを、等金額投資します。

PIMCO新興国ハイインカム債券ファンド
 (毎月分配型) **安定分配型**
 (1年決算型) **資産成長型**

| | |
|---------|------------|
| 利回り | 高 (10.90%) |
| 平均格付 | BB+ |
| デュレーション | 短 (2.00) |
| 為替ヘッジ | 無 |

委託会社 : 日興アセットマネジメント
 純資産総額 : 52億円

高利回りの米ドル建て新興国社債と高金利の新興国通貨に分散投資します。中長期で高水準のインカム収益を積み上げることを目指します。

アジア社債ファンド
 Aコース(為替ヘッジあり) **安定分配型**
 Bコース(為替ヘッジなし) **安定分配型**

| | |
|---------|------------|
| 利回り | 高 (6.75%)★ |
| 平均格付 | BBB- |
| デュレーション | 中 (3.83) |
| 為替ヘッジ | 有・無 |

委託会社 : 日興アセットマネジメント
 純資産総額 : 110億円

日本を除く主にアジアの国・地域の米ドル建ての社債に投資します。利回りは米国社債等と比較して、魅力的な水準となっています。

債券総合型ファンド
 為替ヘッジあり/なし **安定分配型**
 為替ヘッジあり/なし(年2回決算型) **資産成長型**

| | |
|---------|------------|
| 利回り | 高 (5.12%)★ |
| 平均格付 | A- |
| デュレーション | 中 (4.96) |
| 為替ヘッジ | 有・無 |

委託会社 : 三井住友トラスト・アセットマネジメント
 純資産総額 : 59億円

米ドル建ての国債、政府機関債、投資適格社債、ハイイールド社債、新興国債券、資産担保証券などの公社債等に投資します。配分比率は市場環境に応じて変更します。

オーストラリア公社債ファンド〈愛称:オージーボンド〉
安定分配型
 (奇数月決算型) **安定分配型** **NISA**

| | |
|---------|-----------|
| 利回り | 中 (4.58%) |
| 平均格付 | AA- |
| デュレーション | 中 (5.19) |
| 為替ヘッジ | 無 |

委託会社 : 三井住友トラスト・アセットマネジメント
 純資産総額 : 571億円

豪ドル建てで発行される公社債に投資します。格付けは投資適格級以上としており、社債も組み入れています。平均格付は比較的高く、信用力が高い水準にあります。

ノルディック社債ファンド
 (為替ヘッジあり/なし) **安定分配型**

| | |
|---------|------------|
| 利回り | 高 (8.50%)★ |
| 平均格付 | B+ |
| デュレーション | 短 (0.90) |
| 為替ヘッジ | 有・無 |

委託会社 : 野村アセットマネジメント
 純資産総額 : 212億円

北欧5カ国の社債等に投資します。北欧5カ国は、健全な財政状況や社会の豊かさなどに支えられ、安定性と成長性が期待される先進国です。

未来フォーカス企業債ファンド
 (為替ヘッジあり)(年2回決算型) **資産成長型** **NISA**

| | |
|---------|------------|
| 利回り | 低 (0.35%)※ |
| 平均格付 | BBB |
| デュレーション | 中 (4.77) |
| 為替ヘッジ | 有 |

※ 為替ヘッジコスト控除後

委託会社 : 三井住友トラスト・アセットマネジメント
 純資産総額 : 15億円

日本を含む世界の未来フォーカス企業(注)が発行する債券・ハイブリッド証券に投資します。

ジパング企業債ファンド
安定分配型 **NISA**

| | |
|---------|------------|
| 利回り | 低 (1.55%)※ |
| 平均格付 | A |
| デュレーション | 長 (7.40) |
| 為替ヘッジ | 有 |

※ 為替ヘッジコスト控除後

委託会社 : 日興アセットマネジメント
 純資産総額 : 495億円

日本企業や日本企業の海外子会社等が発行する社債に投資します。利回り向上などの観点から、為替ヘッジを行った外貨建ての債券にも投資します。

債券コア・セレクション
資産成長型

| | |
|---------|-----------|
| 利回り | 低 (1.37%) |
| 平均格付 | AA- |
| デュレーション | 長 (8.84) |
| 為替ヘッジ | 有 |

委託会社 : 三井住友トラスト・アセットマネジメント
 純資産総額 : 60億円

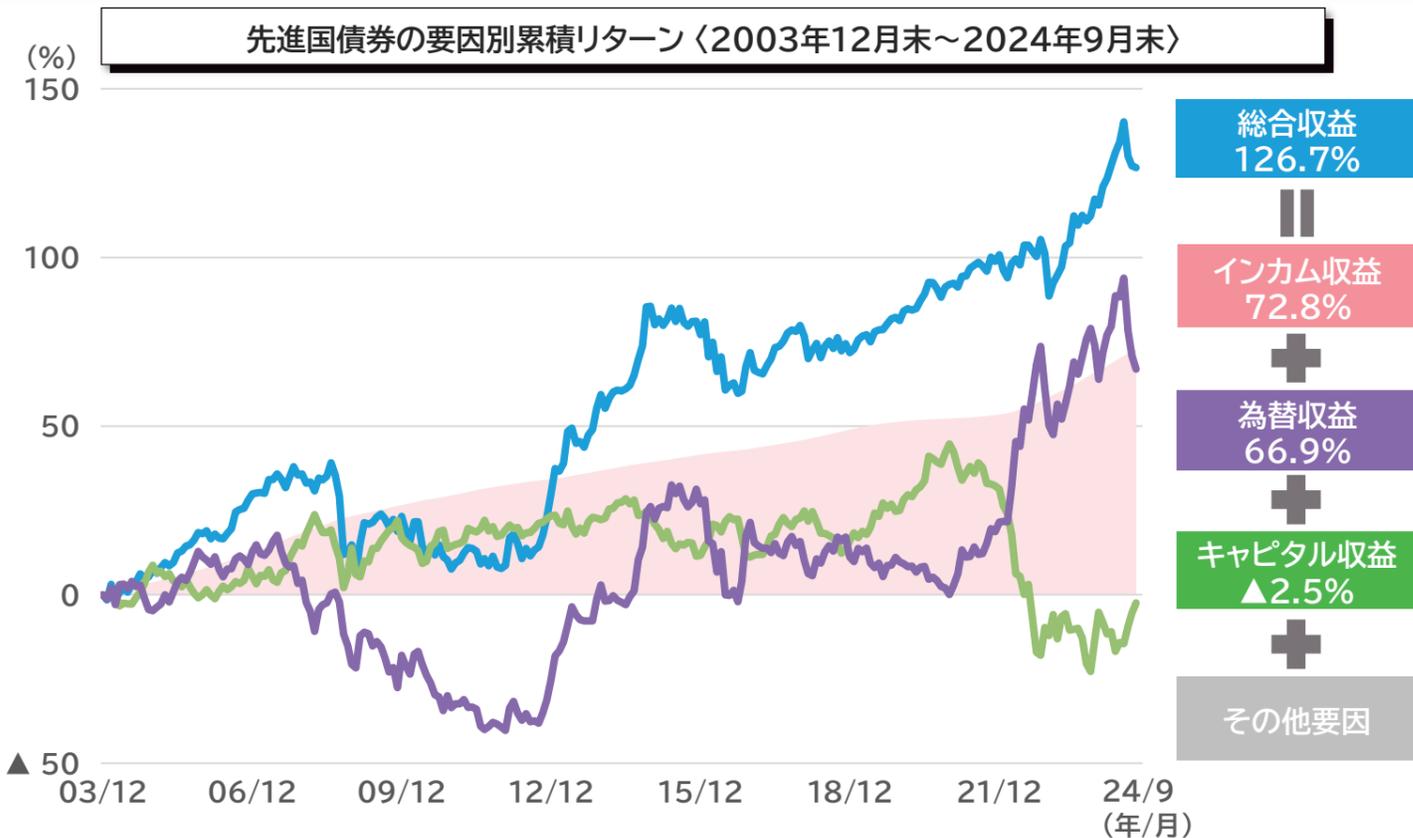
安定的な収益確保のため、投資対象・投資戦略の異なる複数の債券ファンドに分散投資します。市場環境の変化に応じて、適切なポートフォリオへ見直します。

★為替ヘッジ「有・無」のものについて、利回りは「為替ヘッジなし」を記載しています。なお、「為替ヘッジあり」コースをご選択の際には、為替ヘッジコストが発生することにご留意ください。
 (注)未来フォーカス企業とは、資金使途が環境問題や社会的な課題の解決に関連する用途とされている債券等や、発行条件に環境問題や社会的な課題の解決の観点を取り入れた債券等の発行実績のある企業等をいいます。

*利回りは、【低:2%未満、中:2%-5%、高:5%超】で分類。平均格付は、投資対象銘柄の平均格付を記載。デュレーションは、【短:3未満、中:3-7、長:7超】で分類。
 *純資産総額について、複数コース記載しているものは、それぞれの合計金額を記載。
 *各ファンドの月次レポートにマザーファンドのみ記載の場合は、マザーファンドの特性値を記載。
 *上記はいずれも2024年9月末基準。ただし、「フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド」の「利回り」「平均格付」「デュレーション」のみ、2024年8月末基準。

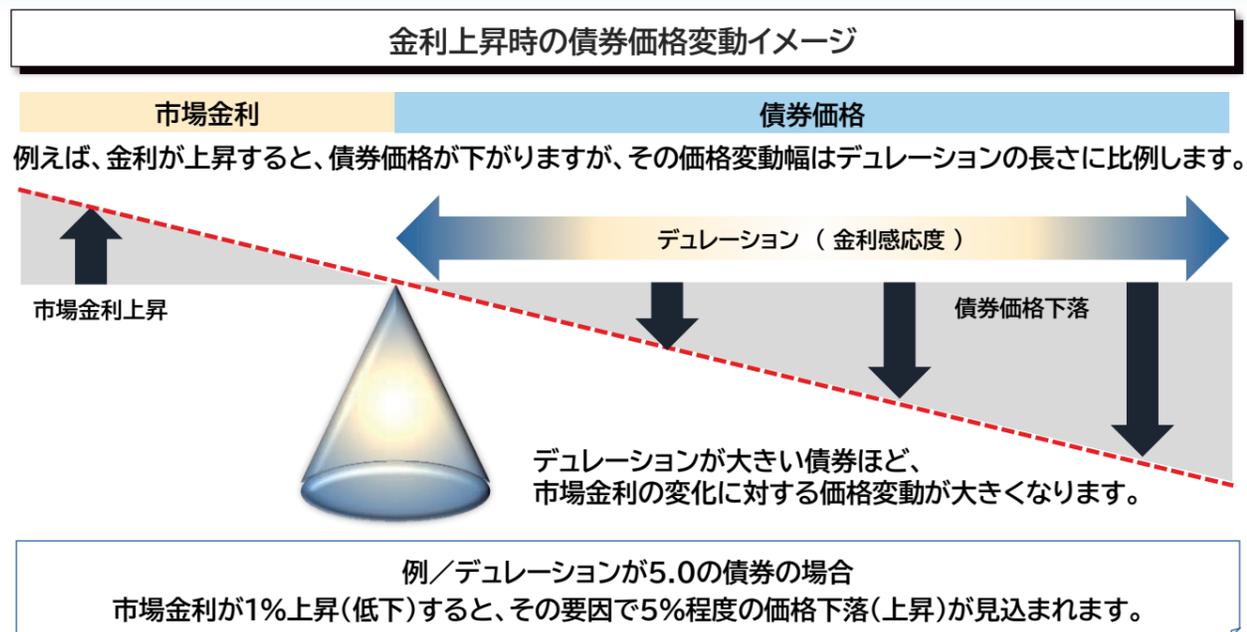
債券の収益構造

金利収入に代表されるインカム収益は長期で保有することにより、安定的に積みあがっていきます。
2021年以降は、円安により為替収益はプラスに、金利上昇によりキャピタル収益はマイナスに働いていることが分かります。



ご参考：デュレーションとは

債券は市場金利が上昇(低下)すると価格が下落(上昇)する特性をもっています。特に国債や高格付債券では、その傾向がより明確です。



債券ファンドを選ぶ際の着眼点 ～ 利回り 格付け デュレーション ～

インカム収益

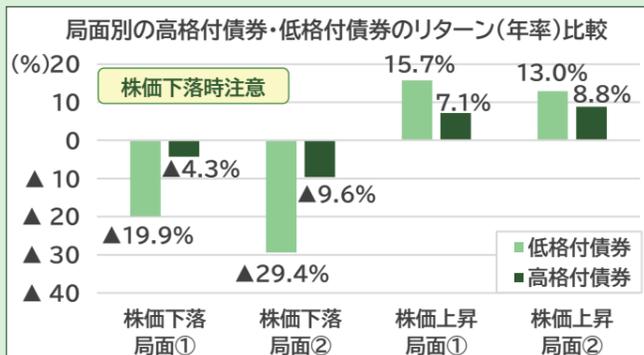
利回り

- 債券を保有することで、時価変動とは無関係に定期的に利払いが得られます。
- 債券の時価は、インカム収益の水準も考慮して変動するため、利回りだけで有利不利は決まりません。

格付け

低格付債券は株式市場の影響大

利払いや元本償還の信用度を示します。



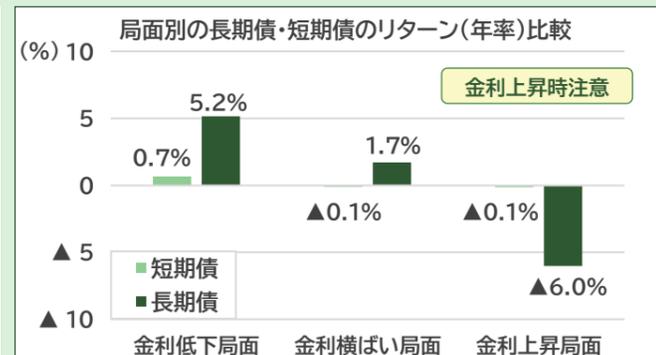
| | 株価下落局面 | | 株価上昇局面 | |
|--------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|
| | ①2007.11 ～2009.02 | ②2019.12 ～2020.03 | ①2020.4 ～2021.12 | ②2022.10 ～2024.9 |
| S&P500 | ▲42.8% | ▲44.3% | +41.9% | +26.8% |

※S&P500指数の騰落率は年率で記載

デュレーション

長い債券ほど市場金利の影響大

市場金利の変化で生じる価格変動の大きさを表します。



| | 金利低下局面 (2006.8～2016.1) | 金利横ばい局面 (2016.2～2021.12) | 金利上昇局面 (2022.1～2024.9) |
|----|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 長期 | ▲1.83% | ▲0.03% | +0.79% |
| 金利 | (1.93% → 0.10%) | (0.10% → 0.07%) | (0.07% → 0.86%) |

※上記は日本における局面

海外の債券に投資する場合は、上記3つの着眼点に加えて、為替の影響についても考える必要があります。

為替ヘッジ

- 海外の債券に投資する場合、投資成果は為替相場の影響を受けます。
- 「為替ヘッジ」を行うことで、為替の影響を排除できますが、「為替ヘッジコスト」がかかる点には要注意です。

為替ヘッジコストの推計値(3カ月金利の差(年率))〈2019年3月末～2024年9月末〉

